



みなみやま

発行責任者 / 井手 宏 編集発行 / 愛知国際病院内・病院だより委員会
〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31 ☎(0561)73-7721

就任あいさつ

院長 太田 信吉

約24年前、ニューヨークでがん免疫の研究をしていた時に、日本キリスト者医科連盟でのつながりで、当時院長であった川原啓美会長から、愛知国際病院で一緒に働きませんかとお手紙を頂きました。アジア保健研修所(AHI)と共にある病院へのお誘いは、アジアの人々の健康について考えてきた私にとって嬉しいことでした。1994年1月、長崎を離れてこの愛知県にやってきました。1995年1月には阪神大震災を経験し、関西NGOネットワークの立ち上げに関わり医療協力を行いました。1999年4月のホスピス棟開設からは、副院長として働いてまいりました。



愛知国際病院の基本方針は、「アジアの健康の増進への理解と協力」「キリスト教的精神に基づく全人的医療」「地域と共にあり地域に支えられる医療」で、そのもとになっているのは、理念である「神いやし我ら仕える」というキリスト教精神です。私はこの理念と基本方針があったからこそ、愛知国際病院で働いてまいりました。聖書の中に「自分を愛するよう

にあなたの隣人を愛しなさい」とあります。この精神が医療の根本にあると思うのです。

昨年、山梨県の清里に行きました。そこにはポール・ラルシュ

記念館があり、彼が働いていた時の言葉を耳にしました。Do your best, and it must be a first class.(あなたの最善を尽くしなさい、そしてそれは一流であるべきである)という言葉でした。ただ優しいだけでなく、一流の医療を提供することは、愛知国際病院も常々目指しているところです。開設当時から、病棟で薬剤師が働き、検査と看護業務を分け、採血は検査技師が行う、保険点数のない時代から訪問看護を行い、愛知県で一番最初にホスピス病棟を実現しました。

小さな病院でありながらこのようなことができたのは、よき理解者、支援者として地域のみなさまがおられたからだと思います。それを川原啓美会長は「私たちの病院：Our Hospital」と言われます。私もみなさまに信頼され、支援していただける病院を、スタッフと一緒に、これからも作り続けたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



紫苑からのお知らせ

ボランティアコーディネーター 高田 清子

紫苑では年4～5回、ボランティア対象の研修会を行なっています。この1月はホスピス看護師の指導で食事介助の体験を行ないました。ボランティアは患者さんの食事介助はしていませんが、ホスピスでは昼食を病室にお届けしたり、ティータイムにはコーヒーなどの飲物とお菓子をお出ししていますので、介助する側・介助される側の体験を通して「テーブルの高さはこのくらいが丁度いいね」とか「相手の視線の先を意識するといいんだね」等活動にも生かせる発見がたくさんありました。

また嚙下の実習では、私たちは食事をするとき、口と手だけではなくて、足の先まで全身の筋肉を使って食べていることを体験しました。健康であれば意識しないことですが、心身の弱られた方々は毎食たいへんな努力をして食と向かい合っておられることを、あらためて気付かされた貴重な時間となりました。



初穂の言いたい放題

小児科 井手 初穂

親にしかできないこと

最近、子育てが一大事業になっています。脳科学や、運動生理学、栄養学など、科学の粋を凝らして、たくさんの子育ての方法が編み出され、お母さんたちはとても真面目に子育てに取り組んでいます。一方、子を育てることの大切さがわからない間に、いつのまにか親になってしまっている場合もあります。そして、かつては自然に、親から常識を教えられ、ご近所さんに社会ルールを教わり、子ども同士で切磋琢磨されていましたが、そういうことがどんどん困難になっています。

親として、何をしなければならないのか？あまりにたくさんの子育ての方法が指し示されて、何をどうすれば良いのかわからなくなり途方に暮れるという困った現象がおきています。最近まで、子育てについて話をさせていたのですが、その時々でテーマが変わってしまいました。ここ数年は、「早寝早起きして朝ご飯を食べましょう」というテーマでもっぱらお話していました。そして、最終回のお話のテーマは、「子育ての基礎」でした。お母さん、時にはお父さんやおじいさん、おばあさんもいらっしゃいます。みなさん熱心で、たくさん質問が飛んできます。質問から子育てすることに、とても不安で自信がない様子を強く感じました。

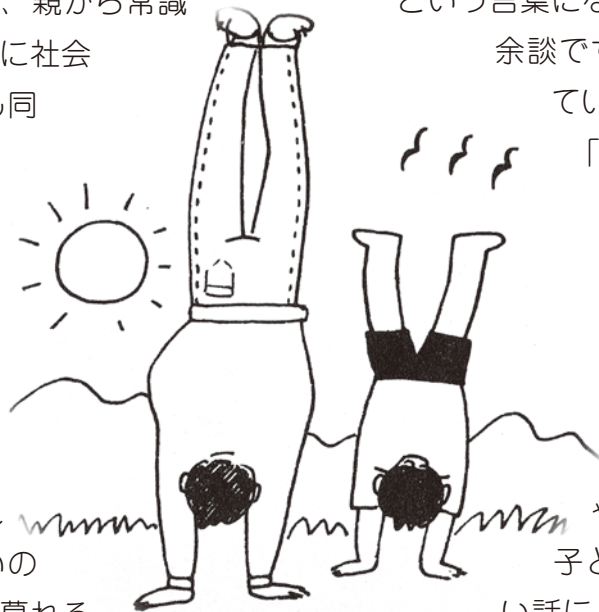
親として、何をしなければならないのか？誰もが子育てする時に考えることです。でも、親にしかできないことを考えるのもとても大事なことだと思います。親にしかできないこと。それは、まず、親が知っている常識を教えることです。一般常識はもちろん教える必要はありませんが、それに加えて、家庭の方針=家訓を伝えなければなりません。親の人生哲学を伝えるのです。私は、頑固親父推進派です。我が家はこうなのだ！と言うのは結構大事なことです。「みんな持っている」とか「みんなの家ではこうなのだ」という言葉になびくことなかれ!!です。

余談ですが、PTAで結構先生っていいことを言ってくれます。

「みんな持っているは、まわり2~3人のことです。だまされることなかれ」「あなたの息子は猿です。もうすぐ人間に戻ります」どちらも先生がPTAでおっしゃった名言です。自分の子どものいうもっともらしい話にころっとだまされて大局

がみえなくなってしまうことにPTAでよく気づかされました。子どものこととなると、周りがみえなくなるほど一生懸命になってしまうことはよくあります。私もたくさん苦い経験があります。

さて、話をもどしますが、そんな大切な世の中の常識と家訓を伝えることだけが重要なわけではありません。親にしかできない大切なこと。それは、外の荒波に揉まれて帰ってきたときに、ホッとできる空間と時間を作ってあげること。そして、いつも子どもを信じてあげて、暖かい言葉をかけてあげること



す。決して、お母さんが代わりに文句を言いに行かなくてもいいのです。お父さんが盾にならなくてもいいのです。教育的なことを言わなくても、お膳立てをしなくてもいいのです。困ったことや愚痴をいつでも聞いてもらえる安心感。何を話しても大丈夫と思える信頼。それがあれば、自分で立ち向かって行く勇氣と失敗を乗り越える力が出てくるのでは

ないかしらと思います。私自身も、未だに、父に落ち込んだ時に話をします。そんなときに「大丈夫だよ。あなたはちゃんとやっているよ。自信を持ちなさい」と言われると、ホッとして、よし頑張ろうと思えてきます。

この一言が、親にしかできないことなのだなと思うこの頃です。



AHIからのお知らせ

「想い」を伝える

遺言書の書き方 講座

自分の「最期」をどう迎えるか。それは年齢に関係なく、すべての人にとって大きな課題です。その時のために、心の準備もしたいし、残していくものをどうするかも考えたい。できれば大切な人たちに「ありがとう」の言葉や、心からのメッセージも伝えられたら…。

「遺言書」を書くことは、自分の人生を振り返り、この社会の中での自分を考えることでもあります。講師の平良一器（たいらかずき）さんは、元 AHI 職員で、今は司法書士として活躍中です。やさしい言葉で、「遺言書」の考え方や書き方をわかりやすく教えてもらいます。

日 時：2013年 5月 18日(土)10時～ 12時

場 所：アジア保健研修所（AHI）

日進市米野木町南山 987-30

（愛知国際病院となり）

講 師：平良一器（司法書士）

主催・申込：アジア保健研修所（担当：羽佐田）

電話：0561-73-1950

E-mail：info@ahi-japan.jp

参加費：無料(定員 20名、予約をお願いします)
前回好評につき、再度の開催です。お待たせしました。

—相続登記無料相談会—のお知らせ

日時：2013年 6月 8日(土) 10時～ 12時

(ひと組 30分・計 4組)

(基本的な内容に関する相談会となります)

場所：アジア保健研修所

(事前予約をお願いします。)

TEL 0561-73-1950)

チャプレン中井の日々雑感（8）

「旅の思い出」

チャプレン 中井 珠 恵

病床でのお話を思い起こしてみると多いのが「旅の思い出」です。病室の狭い空間でも、話を伺ううちにその景色が広がります。話して下さる方の目が、だんだん輝くのが分かります。

Aさんは、ご夫婦で10回近く行った中国のことをお話下さいました。何度か行くうちに買い物と食事の注文ができるほどの言葉を覚えたそうです。商店に入って日本人ツアー客の10分の1の値段で買い物をする。そして観光客のいないレストランに入るのだそうです。「向こうの人に広東語で話しかけられたときは最高だった」とおっしゃいました。山登りが趣味のBさんは、車で羅臼岳の登山口まで行って登り、下山した後に車で大雪山の登山口まで行くというようにして北海道から東北までの山々を一つずつ登る旅をしたそうです。「子どもの頃から人混みが苦手。だからひとり風にあたっているのが一番で

す」とおっしゃっていました。旅程は一人ひとり全く違うものなのだと感じます。

Cさんは、定年後、仲間と一緒に巡礼したことを話されました。近くのお寺参りにはじまり、知多の八十八箇所、そして四国遍路へ出かけたのだそうです。「『行かしていただいたら有り難い、行かしていただいたら有り難い』と念じ続けたんだね。そしたら弘法大師がお手引き下さった」四国の遍路はずいぶん整備されたそうですが、それでも山あり谷ありの道はきつかったそうです。「苦しいことがあっても楽しくまわられたことが思い出されると、不思議に感謝と思える。人生と一緒に笑顔でおっしゃいました。

Cさんのおっしゃるようには人生はよく旅にたとえられます。そして旅の思い出は、その方の生き方をよくあらわしています。Aさんのお部屋には、たえず家族や仲のいいお友だちが集い、楽しい笑い声を聞かせて下さいま

賛助会員募集のお知らせ

愛知国際病院ホスピスでは、賛助会員を募集しています。アメニティーの充実（施設環境、造園、園芸）、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。（ご入会いただいた方には年4回の「みなみやま」をお送りいたします。）

入会
方法

下記の口座に会費をお振り込み下さい。

郵便振替口座 00890-5-3757

口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会

一口 1000 円（おいくらでも結構ですが、できましたら5口以上でお願いいたします。）

した。Bさんは「ここは緑があって風通りがいい」と、病室をずいぶん気に入って下さいました。そしてCさんは、看護師やボランティアがお部屋へ行くたびに「ありがとう」とおっしゃいながら過ごしておられました。こうしてみなさんのすてきな旅の思い出を伺っ

ておりますと、いつか自分の旅の思い出が語れる、そんな人生を歩みたいと思うようになりました。

愛泉館からのお知らせ



傾聴ボランティア募集

人には誰でもかけがえのない人生があります。あなたも、人生の大先輩である高齢者の方々の大切な一生に触れてみませんか！
回想法にてライフレビュー史として、世界でたった一つの物語になります。

他にもあります。こんなボランティア
季節の花々を咲かせる……園芸
陽のあたるカウンターで……カフェ

少人数でゆっくりと……囲碁、将棋
特技や経験を生かして……革細工・絵手紙
演奏会や発表会（詩吟・書道・音楽等）

お問い合わせ・見学もお気軽に
老人保健施設 愛泉館

日進市米野木町南山 987 - 44
TEL 0561 - 74 - 1711
e-mail m.asai@aisenkan.net

担当 浅井



- 新年度より、理事長、院長が変わりました。前理事長の川原啓美は、会長に就任いたします。全人医療の実現に、新しい体制で臨みます。今後とも医療法人財団愛泉会をよろしくお願いいたします。
- 病院敷地には、桜の木が100本以上あり、毎年時期には見事な花を咲かせます。種類も豊富で、飽かさませません。外来にはそれらの写真やポストカード（お一人3枚までお持ち帰り頂けます！）もございますのでどうぞご覧下さい。

これまでお寄せ頂いているご意見・ご感想、大変感謝致しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

宛先は

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31 愛知国際病院内「みなみやま」編集部
電子メールの場合、アドレスは m.kondo@aisen-kai.jp です。お待ちいたしております。

編集長 近藤正嗣